

第2章 主要統計指標－12

人口指標

<いみ>

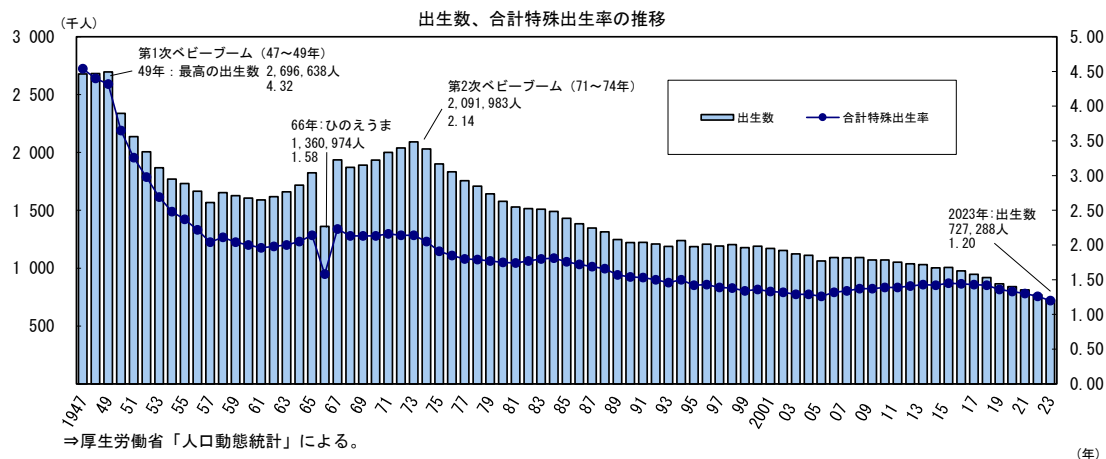
人口の規模（静態）や変動（動態）を統計的に把握したもので、人口静態統計には国勢調査が、人口動態統計には人口移動調査などがある。

<たとえば>

表 日本の人口と出生率の推移及び将来推計人口

年次	総人口 (千人)	年齢3区分別人口割合 (%)		
		15歳未満人口	15～64歳人口	65歳以上人口
1920	55,963	36.5	58.3	5.3
50	84,115	35.4	59.6	4.9
60	94,302	30.2	64.1	5.7
70	104,665	24.0	68.9	7.1
80	117,060	23.5	67.4	9.1
85	121,049	21.5	68.2	10.3
90	123,611	18.2	69.7	12.1
95	125,570	16.0	69.5	14.6
2000	126,926	14.6	68.1	17.4
05	127,768	13.8	66.1	20.2
10	128,057	13.2	63.8	23.0
11	127,834	13.1	63.6	23.3
12	127,593	13.0	62.9	24.1
13	127,414	12.9	62.1	25.1
14	127,237	12.8	61.3	26.0
15	127,095	12.6	60.9	26.6
16	127,042	12.4	60.4	27.2
17	126,919	12.3	60.0	27.7
18	126,749	12.2	59.8	28.0
19	126,555	12.1	59.7	28.3
20	126,146	11.9	59.5	28.6
21	125,502	11.8	59.4	28.9
22	124,947	11.6	59.4	29.0
23	124,352	11.4	59.5	29.1
(将来推計人口)				
2045	108,801	10.1	53.6	36.3
2070	86,996	9.2	52.1	38.7

注：総人口には年齢不詳の者が含まれていること及び四捨五入の関係から、年齢3区分別人口割合の合計が100%にならない場合がある。ただし、平成27年、令和2年は不詳補完値により算出。
 ⇒ 総人口のうち1920～2005、2010、2015、2020年は「国勢調査結果」、その他は「10月1日現在推計人口（国勢調査結果による補間補正人口(2021、2022、2023年を除く)」（以上、総務省）。2045・2070年は「日本の将来推計人口（令和5年推計）の 中位推計値」（国立社会保障・人口問題研究所）により作成



<かんどころ>

1. 国勢調査

- 調査機関 総務省
- 調査周期 5年毎（直近では令和2年実施、次回は令和7年実施予定）
- 内 容 我が国の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行われる国の最も重要な統計調査
- 特 色
 - ① 日本に居住するすべての人（外国人を含む）を対象としており、我が国の最も規模の大きな調査である。
 - ② 男女、年齢、国籍、就業状態、仕事の種類、世帯員の数などを調査し、人口・世帯の実態を把握する。
 - ③ 調査結果は、国や地方公共団体における様々な施策の立案・推進に利用されるのみならず、学術、教育、民間など各方面で広く利用されている。

2. 人口移動調査

- 調査機関 富山県
- 調査周期 毎月
- 内 容 国勢調査を基準に、その後の住民基本台帳人口の出生・死亡・転出・転入、世帯の移動数（市町村から毎月報告）を加減して、本県の人口及び世帯数を推計している。
- 特 色
 - ① 国勢調査の結果を基礎として、その後の人口動向を他の関連指標から得て、人口を推計している。
 - ② 毎月1日現在の人口及び世帯数を算出している。